

福井市社北小学校
学校だより

令和5年度 5月号

〒918-8055 福井市若杉4丁目143
☎0776-35-2821 (fax:35-2719)
Mail: y-kit-e@fukui-city.ed.jp

開
ひらく

♪公民館合同あいさつ運動♪



さわやかな風の季節となりました



令和5年度がスタートして、はや1ヶ月が経ちました。

季節は、春から初夏へと移り、お日さまに照らされた木々の葉は、風に揺れてきらきらと輝いています。ゴールデンウィークも終わり、学校には活気が戻り、子供たちの元気な声があちこちから響いています。子供たちの表情からは、このお休みを満喫した様子がかえります。

この時期は、新しい学年になり張り切っていた子供たちも、慣れてきたり飽きてきたりして、ちょっとした甘えやわがママが表に出てくることがあります。これは子供が育っていくうえで大切なことだといわれています。今の状況を心配したり注意したりするだけでなく、4月に頑張っていたことを認め、これから先1年間を見据えた、はげましやアドバイスが学校でもご家庭でもできるといいなと考えています。

5月は、大人にとっても子供にとってもストレスがたまりやすい時期です。これまでのコロナ禍によるストレスが懸念される一方で、一気に元に戻そうとする流れに不安を感じたり心配をされたりする方もいるようです。大人も子供も、新しい環境の変化に多かれ少なかれストレスを感じるものです。慌てず、落ち着いてじっくりと余裕を持った子育てにつなげていけるように、ご家庭と学校が手を取り合って協力できることを願っています。どうぞよろしくをお願いします。

友情田んぼで田植え 4/28(金)

元気いっぱい5年生!

風が気持ちいい〜♪



今年も、公民館やPTA、保護者の方々のお力をお借りして、田植えができました。まずは、公民館長から社北地区の宝である「道守の荘」についての話をうかがいました。その後、準備万端・フル装備?の5年生は、早速田んぼの中へ。虫がよってきたり近くでカエルが鳴いたり、あちこち泥はつくし、足が抜けずに前に進めないし・・・と大変でしたが、無事に終わりました!子供たちや青空が、田んぼの水面に映り込み、まるで「ウユニ塩湖」のようでした。担任の先生はもちろん、たくさんの方々のおかげですね。ありがとうございます。5年生は、これからどんな学習をしていくのかな。そして、どんな力を身に付けていくのでしょうか? とっても楽しみです。



今年度も学校だよりを発行し、学校の様子をお知らせをします。今回よりタイトルを変えました。この学校だより「開(ひらく)」は、
①学校と家庭、地域を結ぶ大切な架け橋です。児童を通して全家庭に配付します。(メールでも配信します。カラーで見られます。)
②開かれた学校、地域と共に歩む教育を進める一助として、学校の活動や児童の様子をお知らせします。
③変化の激しい時代に対応するために、広く教育や学校の現状を知らせ、家庭や地域のご理解をいただきます。
④児童を認め、児童にやる気や夢をもたせるために、
⑤教職員の指導を支援し、意識や力量を高めていくために、
⑥学校の説明責任を果たすことを意識して、発行していきます。
この学校だよりによって、開かれているところから、学校に目を向け、温かくさわやかな風を送り込んでいただけたらと思います。

裏面はスクールプランです。



児童や教職員、家庭・地域にとって「自己実現ができる」「魅力のある」学校となるよう、「つながり」と「対話」を大切にしたい、学校づくりをしていきます。そのためにも、家庭や地域の皆様の御理解と御協力が必要です。どうぞ、このスクールプランをご覧ください、御理解いただきますようお願い申し上げます。

令和5年度社北小学校スクールプラン

《めざす学校像》

「きた」くなる社北小

- *学ぶ喜びがある学校
- *安全・安心で楽しい学校
- *社会の変化を前向きに捉え、対応できる学校

《めざす教職員像》

「きた」いされる教職員

- *子供に寄り添い、一人ひとりの意欲や可能性を引き出す
- *専門職としての資質を高めるために学び続ける
- *自らの心身の健康に留意し、職務に全力を尽くす
- *チームワークを大切に、児童や保護者から信頼される

福井市学校教育目標
郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成

学校教育方針
学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

【学校教育目標】

未来に生きる子の育成

《社中学校区教育》

【テーマ】
地域と“わ”で育てる思いやりの心
—和・環・話—

【めざす児童・生徒像】
地域を創造する子
～かかわる子・つながる子・やりぬく子～
★授業や活動の交流(子供・教職員)を通して、
学び合い、高め合うことのできる中学校区

めざす児童の姿

- *自ら考える子
- *思いやりのある子
- *たくましい子
- ・よく聴き、よく考え、自分の言葉で自分の思いを表現する子
- ・自分で判断し、行動する子
- ・相手を受け入れ、協働しながら高め合う子
- ・明るい挨拶や返事をし、つながりを大切にする子
- ・健康や安全に気を付けて生活できる子
- ・自分のめあてをもち、ねばり強く取り組む子

わかる授業づくり

啓

- ◎わかる・できる・楽しい授業の工夫
 - ・つきたい力の明確化
 - ・基礎基本の徹底
 - ・ICTの利用
 - ・ふりかえりの工夫
- ◎主体的に取り組むための手立ての工夫
 - ・課題の設定
 - ・個に応じた支援
- ◎対話的で深い学びに向かうための工夫
 - ・意思決定の場面設定
 - ・かかわり合うための学びの形態

数値目標

- ①授業の工夫を図っていると答える教員が100%
- ②授業が分かる と答える児童が90%以上
- ③授業に主体的に取り組んでいると答える児童が80%以上

<研究主題>

主体的に学び、考えを深める子の育成
—かかわりながら学ぶ楽しさを
実感できる授業づくり—

拓

居場所づくり・絆づくり

- ◎「親子道徳」の活用により、家庭と連携した道徳教育の推進と充実
 - ・社会性を育ていじめを予防する
 - ・SNSのつながり <リアルなつながり
- ◎気持ちのよいあいさつや返事ができる環境づくりの推進
 - ・あいさつ運動(公民館合同・委員会)
- ◎互いのよさを認め合う学級経営

数値目標

- ①学校が楽しい児童が90%以上
- ②明るい挨拶ができる児童が90%以上
- ③いじめをとめようとする児童が80%以上
- ④将来の夢や目指す目標をもっている児童が90%以上
- ⑤郷土福井を大切にしたい児童が80%以上

<業務改善の取組>

・会議の時間は1時間以内
・行事等の精選と効率化
・退庁18:30遵守
・放課後時間の使い方の見直しと改善

開

信頼される学校づくり

- ◎授業参観や学校だより、HPなどで、積極的な情報の公開を行う。
- ◎公民館や地域の人材の活用による多様な体験学習の場を設定する。
- ◎小中連携や園小連携など、地域の幅広い世代との交流の充実を図る。
・地域や家庭との連携による、安全・安心な学校環境づくりをする。